

令和元年度 自己評価結果

1 学校の教育目標 <校訓>

<校訓> ～技を競って 心を磨く～

- 理容・美容の知識・技術の基礎的・基本的事項を身に付け、職業実践的な技術を磨くとともに心を磨く教育活動を創造する。
- 地域に開かれた学校づくりを推進し、豊かに人と関わり、社会に貢献できる人材を育成する。

2 自己評価の項目

(1) 学校の教育目標

評 価 項 目	よくできている…4 できている…3 あまりできていない…2 できていない…1			
a 学校の教育目標に沿って、教育活動が展開されているか。	④	3	2	1
b 社会に貢献できる人材育成に向けてビジョンをもって取り組んでいるか。	④	3	2	1
c 学生・保護者等に学校の教育目標を周知しているか。	4	③	2	1
d 学校の教育目標は時代のニーズに合っているか。	④	3	2	1

<現状>

AIの益々の進展、人口減少や少子化、環境問題など、社会が大きく変革する中、持続可能な社会の実現に向けて、心豊かに人や社会、自然と関わり、未来を切り開いていくことのできる人間を育成していくことが求められている。本校では校訓「技を競って 心を磨く」を根幹に据え、理容業・美容業に従事する者としての使命感や責任感をもち、総合的な実践力の基礎を身に付けることができるよう、授業時数の確保や一人一人を大切にしたいきめの細かい少人数指導に取り組んでいる。特に、特別養護老人ホームでのマッサージやネイリング、市あかがねマラソン大会でのおもてなしボランティアなど、修得した美容技術を生かして社会貢献活動に取り組んだことは、生徒に社会に役に立つことの喜びを感じさせる良い機会となった。

<今後の課題>

学校の取組状況を、随時タイムリーにInstagramや「まいぶれ新居浜」、ホームページなどで発信し、生徒や保護者がいつでも情報を得ることができるように取り組んでいるが、更に一層学校の取組状況を理解していただけるよう尽力していかなばならない。また、始業式や終業式などの校長講話に、社会貢献活動や社会に役立つ人材について等の話題を取り上げて、「自分が将来どのように社会に貢献し、自分の人生を切り拓いていくか」考えさせる機会としてきたが、生徒の人間力を高める上でも、今後も継続していかなばならない。

(2) 学校運営について

評 価 項 目	よくできている…4 できている…3 あまりできていない…2 できていない…1			
a 運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	④	3	2	1
b 学校運営について理事会や定期総会で理解・周知を図っているか。	4	③	2	1
c 教務・財務などの組織は適切に機能しているか。	④	3	2	1
d 教育活動に対する情報公開は適切におこなわれているか。	④	3	2	1
e 情報システム化による業務の効率化が図られているか。	4	3	②	1
f 人事・給与等に関する規定等は整備されているか。	4	③	2	1

<現状>

学校運営方針について適切な事業方針が提案されており、定期総会や理事会等で理解や周知を図りながら、適切に運営されている。教務や財務などの運営も、教職員間での「報告・連絡・相談」を密に図りながら、税理士や社会保険労務士など専門家の意見も聴取しながら、円滑に進めることができています。財務では、これまでの電気会社やガス会社を見直し、効率的な経費の節減に努めた。また、教育活動の情報公開を積極的に推進するため、企業プラットフォーム「まいぶれ新居浜」にニュースを掲載したり、Instagramも新たに活用するなど取り組んだ。そのことにより、オープンキャンパスの申込みもインスタで申し込む者もあり、最近の若者のニーズにマッチしていたと考える。また、地域社会に学校の教育活動を広く周知していただくため、ホームページをリニューアル、看板や懸垂幕を新たに設置するなど、教育活動の情報公開を推進することができた。

<今後の課題>

5Gの高速大容量時代を目前に、次年度は生徒が就職先を探す際、企業と連携してWEBサイトから四国・関西・関東エリアのOBのいるサロンを検索し、動画でサロン内を見学したり、面接をしたりできるよう環境を整備しているところであるが、より一層生徒のニーズに応えながら、WEBを活用した就職指導が展開できるよう努力していかねばならない。

(3) 教育活動

評 価 項 目	よくできている…4 できている…3 あまりできていない…2 できていない…1			
a 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
b 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
c 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1

d キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	③	2	1
e 実践的な職業教育（産学連携による職業体験・インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
f 職業教育等に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1
g 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確化になっているか	4	③	2	1
h 教科課目の目標を達成できる要件を備えた教員を確保しているか	4	③	2	1
i 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や資質向上のための取組が行われているか	④	3	2	1

<現状>

教育課程の編成においては、毎月、学期ごとにカリキュラムの時間調整を図りながら、到達レベルや学習時間の確保を明確に行っている。特に、様々な資格の取得に関しては、福祉理美容師の資格取得や企業と連携したOPIベーシックネイル課程修了、日本ネイリスト3級技能検定指導、まつ毛エクステンションや着付けの指導など、専門的・職業実践的な資格や技能を身に付けることができるよう体制整備に努めている。また、年間を通して、現役の理美容師から構成される「美容師大学」と連携し、現場のサロンで求められる総合的な実践的な技能を中心とした授業を展開し、即戦力となる人材育成に向けた取組を行っている。

カリキュラムの編成では、今年度、特に時代のニーズに応えるため、美容修得者コース・理容修得者コースを設置できたことが大きな成果である。また、高等教育の無償化等に伴う法改正に対応して、授業料や入学金等の減免措置を受けられるよう申請し、認可校となったこともあげられる。卒業の認定に関する方針であるディプロマ・ポリシーについても、生徒にどのような力を身に付けさせるか、明確にホームページや学則に明示した。

産学連携では、現役の理美容師と一緒にカラー講習会（2回）を実施したり、企業説明会を開催したりして、実践的な職業教育に努めたとともに、年金セミナーや労働者セミナーを開催して資質向上を図ることができた。

<今後の課題>

美容師法の改正に伴い、「まつ毛エクステンション」が美容師免許取得者に限定されたことで、全国学生技術大会の種目に「まつ毛エクステンション」も加わることとなった。そのため、本校内で、まつ毛エクステンションの講習や試験を実施し、修了証を全員が取得できることを目指し、今年度、本校の教員がABEまつ毛エクステンション認定講師の研修会に参加する。来年度は、これまでの福祉理美容師の取得に加えて、まつ毛エクステンションの修了証も全員取得できるよう取り組んでいく。また、ネイルに関しても、ABEネイリスト認定講習を全員が受講し、校内で試験を実施できるような体制整備を行っていく必要がある。

（４） 学修成果

評 価 項 目	よくできている…4 できている…3 あまりできていない…2 できていない…1			
a 就職率の向上が図られているか	4	③	2	1

b 資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
c 退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
d 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1

<現状>

就職率の向上に関しては、実務実習店舗と連携して、実習の成績評価や状況を的確に把握し、就職活動への意欲付けを図ったり、企業等の求人案内をいつでも誰でもが閲覧できるように職員室に備え付けたり、就職先が決定するまで個別に相談に応じるなど、一人一人へのサポートに努めている。また、企業と連携してWEBサイトに設置した学校の窓口から、先輩OBの働く求人募集のサロンを検索し、動画でサロン内を見学したり、OBとWEB会議で話したり、就職支援を行っていけるよう整備を進めている。資格取得率の向上に関しては、本校教員が国家試験実技試験の審査員や主任等を務めており、実技でのチェック項目に関して細かく指導し、模擬試験を事前に何回も実施するなど取り組んでいる。指導教員が実技面での指導事項や重点事項を、自ら研修会に参加して理解し、生徒に具体的に指導できる体制が整っている。

また、国家試験取得とともに、他にも福祉理美容師の資格、ABEネイリスト検定の資格、ABEまつ毛エクステンション検定の資格等を全員が卒業時には取得できるよう体制整備を行っているところである。本年度は、全国理容美容学生技術大会四国大会で優秀賞3名、敢闘賞2名、フォトコンテストでもグランプリや入賞するなど、活躍できた。

<今後の課題>

国家試験においては、昼間課程、通信課程ともに、実技試験は100%近い合格率を挙げることができている。しかし、筆記試験においては、8月・9月の通信課程筆記試験合格率が50パーセントと低く、不合格になった者については、就業しながら学習時間がなかなかとりにくいことや、リビッツステーションの活用が低かったことなどが要因と考えられる。そのため、リビッツステーションの活用率を向上させるために、SNSなどを活用して定期的に意欲付けしていくことも必要になってくるだろう。不合格者に、1月、2月の受講を促して（無料）個別の指導を行い、サポートを行っているが、今後も継続して行っていく必要があるだろう。

(5) 学生支援

評 価 項 目	よくできている…4 できている…3 あまりできていない…2 できていない…1			
a 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
b 学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
c 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1
d 学生の学内生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1

e 保護者と適切に連携しているか	4	③	2	1
f 卒業生への支援体制はあるか	④	3	2	1

<現状>

生徒からの個別の悩み相談に関しては、その都度、学級担任や校長、教職員の誰でもが関わりながら、気軽に相談しやすい体制が整備されており、少人数指導で家庭的な温かい雰囲気が醸成されている。そのため、中学校の折には不登校傾向であった高等課程の生徒も、休むことなく毎日笑顔で楽しい学校生活が送れている。保護者の相談に関しても、その思いに寄り添って適切に相談活動が行われており、保護者との望ましい関係づくりに努めている。授業料の納入に関しては、一括払いにせず、月ごとに分割するなど、保護者の負担軽減に努めている。

<今後の課題>

生徒がゆっくり友達とベンチに座って団らんでできるような憩いの場所づくりに向けて、中庭のベンチやコンクリートの舗装を改修するなど、生活環境をさらにより良いものに改善していくことも必要だろう。

(6) 教育環境

評 価 項 目	よくできている…4 できている…3 あまりできていない…2 できていない…1			
a 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	②	1
b 防災に対する体制は整備されているか	4	3	②	1

<現状と今後の課題>

施設、設備面では、旧校舎については早55年が経過しており、講堂の壁面のコンクリートが欠損したり、生徒の机や椅子等の備品も古くなっている。また、職員室のロッカーや机、椅子等も昭和40年製のものであり、傷みが激しい。予算を勘案しながら計画的に備品を新しいものへ改善していくことが必要である。WIFI環境については、各教室で使えるので、学校の携帯からリビッツステーションの過去問題をプロジェクター等で映して全体で学習を深めるなど、教育機器を効果的に活用していくことも必要だろう。今年度、新しく電子黒板機能付きプロジェクターを購入するので、有効に活用を図りたい。また、現在、使用していない新館の3Fを、フォトコンテスト専用の撮影室にしたことで、これまでフォトコンテストの撮影の度に、その都度準備していた手間が省け、効率的に業務を行えるようになった。防災体制の整備については、今後、発生するであろう南海トラフ巨大地震発生に備えて、非常持ち出し袋やヘルメット等を備えたり、防災訓練の在り方を見直したりすることも必要であるだろう。

本年度、職員室前の掲示板を活用し、全員のフォトコンテスト用の作品、全国理美容学生技術大会での入賞作品を掲示したことで、生徒一人一人が、自分の頑張りを友達やその他、大勢の人にも認めてもらえたり、自尊感情を高めたりする良い機会となった。

(7) 学生の受入れ募集

評 価 項 目	よくできている…4 できている…3 あまりできていない…2 できていない…1			
a 学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2	1
b 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	③	2	1
c 学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

<現状>

6月には今治市、四国中央市、新居浜市の各高校を回って、学校の教育活動の取組を説明している。また、2月には、市内の各中学校や在校生の出身中学なども回って、学校の取組状況を理解していただいている。今年度は、来年度より修得者コースが設置されること、高等教育の無償化等の認可校になったことなどを、インスタグラムや「まいぶれ新居浜」、ホームページ、募集要項等に掲載して、広く周知していただけるよう取り組んだ。また、「ハロウィンカーニバル in新居浜」や「市あかがねマラソン大会」などのボランティア活動でも、生徒がサンドウィッチマンになったり、看板をコーナー前に設置したりして、機会あるごとに生徒募集について広報してきた。懸垂幕にも「生徒募集中」と大きく表示し、たくさんの方の目に触れるよう取り組んだ。同時に、受賞歴についても教育成果を広く周知していただけるよう「祝フォトコンテスト入賞」「祝全国理美容学生技術大会 出場」などの懸垂幕を作成し、設置している。

本年度は、修得者コースの設置等により、大きくカリキュラムが変更したこともあり、生徒募集用のパンフレットを刷新している。その中で、学校の特色であり、強みでもある「魅力」や「各種資格取得に対応、地域社会貢献活動の展開」などを、分かりやすく掲載したりして、生徒に本校の魅力を感じてもらえるよう努めている。

<今後の課題>

学校を継続的に運営していくためには、生徒の人数確保がまず前提である。今後、昼間課程では東予地方エリア全域、通信課程では、四国エリア全域を対象に、SNSを効果的に活用したり、社会貢献活動を通して様々な人と触れ合ったりするなど、効果的な広報に努め生徒の人数確保に向けた積極的な取組を継続していきたい。

(8) 財務

評 価 項 目	よくできている…4 できている…3 あまりできていない…2 できていない…1			
a 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	②	1

b 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	③	2	1
c 財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
d 財務情報公開の体制整備はできているか	4	③	2	1

<現状と今後の課題>

学校の財務基盤については、収入は生徒数に大きく影響されるため、今後も継続して生徒の人数を確保するなど、長期的な財務基盤の安定に努めなければならない。予算・収支計画については、専門家の税理士にも意見を求めたり、前年度の財務状況を勘案したりして、適切な予算・収支計画を立案している。会計監査も毎年、理事会の監事により適切に行われている。財務情報の公開に関しては、職員室備付簿として、生徒だけでなく一般の方からも問い合わせがあった場合は、送付できるようにしている。

(9) 法令等の遵守

評 価 項 目	よくできている…4 できている…3 あまりできていない…2 できていない…1			
a 法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
b 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	③	2	1
c 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	③	2	1
d 自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

<現状と今後の課題>

個人情報に関しては、すべてのパソコンにセキュリティーソフトを入れて、外部からの侵入やウイルス対策に備えるなど、情報漏洩の対策をとっている。学校評価に関しては、PDCAサイクルに基づく自己評価を実施しており、学校関係者評価委員会を開催して外部人材の意見も参考に、より望ましい適切な学校運営に努めている。また、自己評価結果や学校関係者評価委員会の結果を、ホームページ等で公開したり、保護者会で説明したりするなど、情報公開を行い法令等の遵守に努めている。今後も学校評価を確実に実施することを通して、より一層の学校運営の改善を図っていきたい。

(10) 社会貢献・地域貢献

評 価 項 目	よくできている…4 できている…3 あまりできていない…2 できていない…1			
a 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	④	3	2	1

b 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④	3	2	1
c 地域に対するオープンキャンパス等を積極的に実施しているか	④	3	2	1

<現状>

今年度は地域に開かれた信頼される学校づくりを目指して、地域社会貢献活動にも力を入れた。自分たちが修得した美容・理容技術や知識を生かし、様々な人々と触れ合い、自らの心を磨きながら、社会に役立つ喜びを体験するとともに、ボランティア精神を育み、社会に貢献しようとする人間の育成を図っている。障がい者福祉施設での夏祭りの浴衣の着付け、特別養護老人ホームでのハンドマッサージやネイル、児童のためのハロウィンカーニバルin 新居浜でのメーキャップ、市あかがねマラソン大会でのおもてなしボランティア（つまみ細工髪飾りの無料配布・ワンポイントメーキャップ）、レイグラッチェふじでの成人式のヘアセットボランティア、市花火大会での浴衣の着付け、ヘアアレンジなど、様々な地域社会貢献活動に取り組むことができた。生徒はこのような活動を通して、地域社会貢献の意義を体験的に学ぶことができ、社会に役立つ人材の育成につながっていくと思われる。また、このことを通して、地域のたくさんの方々に本校の活動を理解していただく機会となった。

<課題>

今後も自分が社会の一員として、役に立つ人材であることを自ら自覚し自信をもって、積極的に地域社会に関わっていこうとする人間を育てていかなければならない。社会と繋がり、人と繋がり、心豊かに人生を切り拓くことのできる人間を育成できるよう取り組んでいきたい。